

(2)心身の機能の発達と心の健康

(イ)生殖に関わる機能の成熟

1 指導内容の系統性

小学校では体の発育・発達については、思春期には体つきの変化が現れ、初経、精通が起こる、異性への関心が芽生えることなどを学習している。また、年齢に伴う体の変化には個人差があることを学習している。

2 指導内容の明確化

ア 知識及び技能

イ 思考力、判断力、表現力等

要)：学習指導要領
解)：同解説
の内容を示します。

指導に当たっては、
①発達段階を踏まえること
②学校全体で共通理解を図ること
③保護者の理解を得ること
などに配慮することが大切である。

要1) 思春期には、

1/3時間

要2) 内分泌の働きによって生殖機能に関わる機能が成熟することが理解できるようにする。

解1) 思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることを理解できるようにする。

2/3時間

要3) 成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要になることが理解できるようにする。

解2) 身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解できるようにする。

本時 3/3時間

要3) 心身の機能の発達について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにする。

解3) 心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。

3 知識を活用した学習 (3/3)

第1時では、小学校で得た知識をもとに、思春期には下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きによって生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、月経や射精が起こること、それにより妊娠が可能になることを学習した。第2時では、身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることについて学習した。「生命の安全教育」をもとに心と体の距離について得た知識をもとに、性に関する適切な態度や行動を選択し、実践する力を身につけることができることを目指している。

導 入

前時までの学習内容から、性との向き合い方で大事なことを黒板とiPadで提示する。
日常生活で具体的に困った場面の話を絡めながら本時の学習課題を提示し、よりよい関わり方について課題意識をもつ。前時までに学習した、人とのよりよい関わり方のポイントを全体で確認をし、本時の課題の解決策を考える。

【本時の課題】 異性を尊重する態度を身に付け、より良い人間関係について考えよう。

展開1

習得①

ロールプレイ学習でパートナー同士のやりとりを行い、導入で確認したポイントを活用しながら実践することで、人とのよりよい関わり方の理解を深める。

方法①

自分の気持ちをパートナーにうまく伝える方法を考える。ペアでロールプレイ学習を行い、やりとりを実践する。ペアでロールプレイ学習を振り返り、実際にやりとりをして感じたことや気付いたことを、ロイロノートにまとめる。

展開2

習得②

自分の活動の振り返りと、上手な人の動画を見ることで、他者の考え方や人とのよりよい関わり方に気づき、新たな知識を得ることで、深い学びに繋げる。

方法②

上手なやりとりを見て、よかった点や自分たちとの違いをペアで話し合い、具体的な改善策をロイロノートにまとめる。

評価【思考・判断・表現】(ロイロノート、動画、観察)

性意識の変化について、課題を発見し、解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったりロイロノートに記述したりして筋道を立てて伝え合っている。

まとめ

習得③

「性に関する指導」の授業を通して学んだことや今後の自分の生活への活かし方について、キーワードをもとに理解し、深い学びに繋げる。

方法③

「性に関する指導」の授業3時間分のまとめを各自でロイロノートに考えを記入し、まとめる。自分事としてよく考えまとめられているものをクラス全体で共有する。

保健体育科（保健分野）学習指導案

第5校時 体育館

第1学年 名

志木市立志木中学校 教諭

養護教諭

1 単元名「心身の機能の発達と心の健康」 （イ）生殖に関わる機能の成熟

2 単元について

中学生期は、身体的な成熟に伴う生殖機能の発達に応じて性衝動が生じたり、自己の認識や異性への関心などが高まったりする時期である。また、体の変化が著しく個人差も大きいことから、その変化に戸惑い、不安や悩みをもつようになる時期でもある。本単元では、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経がみられ、妊娠が可能になることを科学的に理解する。また、性的な発達に対応して、異性の尊重、性情報への対処など、性に関する適切な態度や行動の選択が必要であることを理解し、体や心の変化を肯定的に受け止め、自分や周りの人を大切に思いやる気持ちを育てたい。

3 生徒の実態

（1）知識及び技能

小学校4年生の保健の授業で「思春期の体の変化」の単元で子供から大人への体の変化や男女の体の違いについて学習している。また、ニュースやネットなどで言葉を見たことがある生徒もあり、知識の定着については差がある。

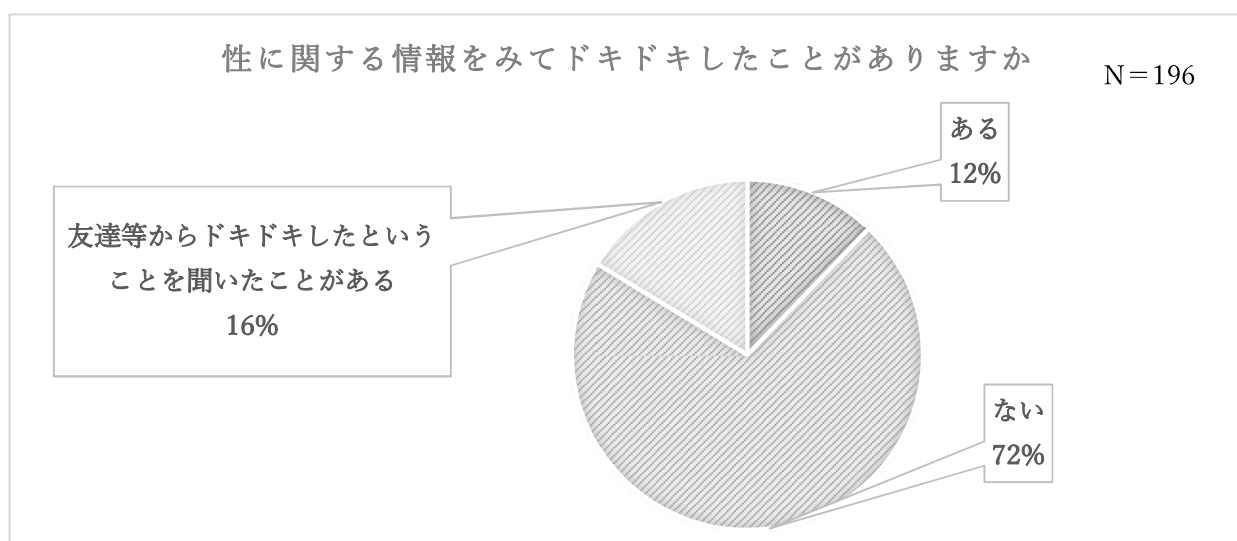
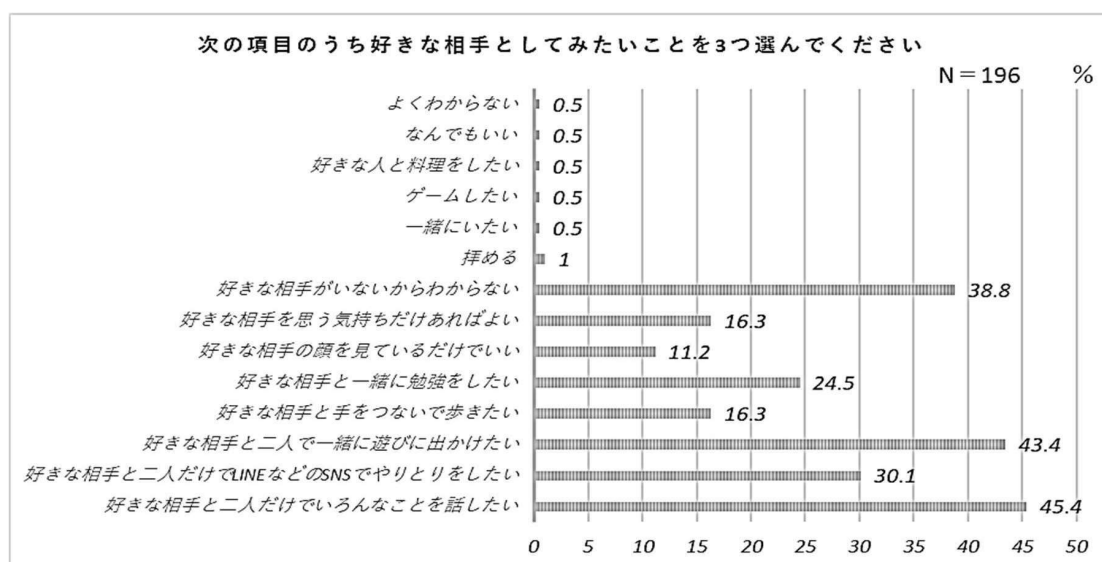
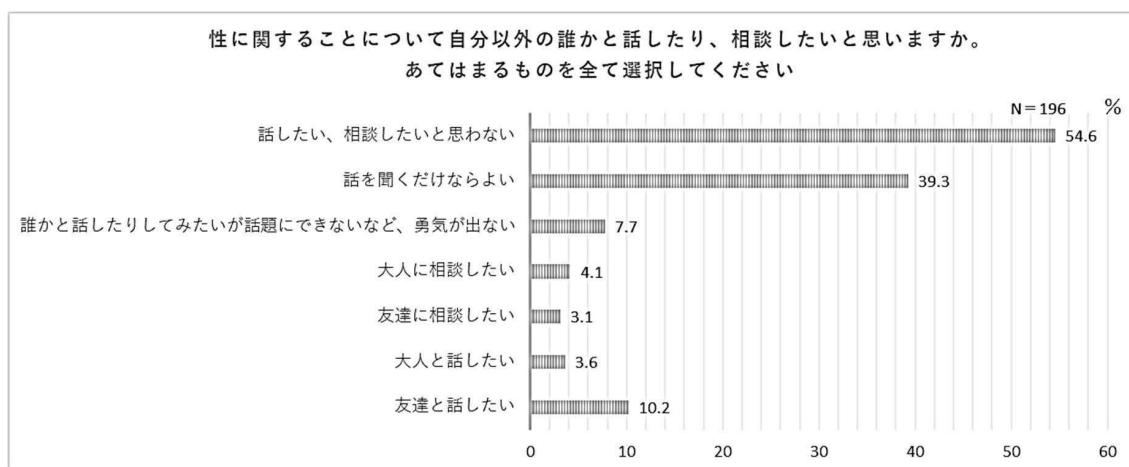
（2）思考力、判断力、表現力等

教師から出された課題の解決方法を見付ける力はあるが、自分で課題を見付けたり、自分事として考えることは苦手である。性についてはまだ興味をもっておらず、性意識に対する向き合い方や実際に自分が性的欲求などを感じた時の適切な行動を選択することができる力はまだ備わっていない。

（3）学びに向かう力、人間性等

授業に対して真剣に取り組む生徒が多いが、発言には消極的である。性に関する話について「話したり、相談したりしたいと思わない」が約55%いることから、話題にしたり誰かに相談したりしづらいと感じている生徒が多いため、意見や考えの共有の仕方に配慮が必要である。

【生徒対象 事前のアンケート結果】



女子



ICTや学習カードなどを活用し、グループで課題に取り組むことで、互いに助け合い、教え合うことで、安心して学習できる環境を作り出すとともに、生徒自身が自他の健康に関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じての実践力の基礎を養う。

5 単元の目標

(1) 思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること、身体が成熟に伴う変化に対応した適切な態度や行動の選択が必要となることについて理解することができるようにする。

〈知識及び技能〉

(2) 心身の機能の発達と心の健康について課題を発見し、解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。

〈思考力、判断力、表現力等〉

(3) 心身の機能の発達と心の健康について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとすることができるようにする。

〈学びに向かう力、人間性等〉

6 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	①生殖に関わる機能の成熟について、習得した知識を自他の生活に適用したり、解決方法を考えたりして、適切な方法を選択し、それらを伝え合っている。 ②性意識の変化について、課題を発見し、解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったりワークシートに記述したりして筋道を立てて伝え合っている。	①心身の機能の発達と心の健康について、課題解決に向けた学習活動に自主的に取り組もうとしている。

7 単元の指導と評価の計画（全3時間）本時は○印

時	学習のねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	I ねらい ・思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることについて、理解できるようにする。 ・生殖に関わる機能の成熟について、習得した知識を自他の生活に適用したり、解決方法を考えたりして、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。 II 学習活動 1 本時のねらいを確認する。 2 生殖機能の成熟について理解する。 主たる学習内容（知識） ・思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となること。 3 本時の振り返りとまとめ	①	①		ロイロノート 観察
2	I ねらい ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることについて、理解することができるようにする。 ・心身の機能の発達と心の健康について、課題解決に向けた学習活動に自主的に取り組もうとすることができるようにする。 II 学習活動 1 前時の復習、本時のねらいを確認する。 2 性意識の変化と性情報への対処について理解する。 主たる学習内容（知識） ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となること。 3 「生命(いのち)の安全教育」に関連付けた内容を取り上げ、理解を深める。 4 本時のまとめとまとめ	②		①	ロイロノート 観察

③	I ねらい ・性意識の変化について、課題を発見し、解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったりロイロノートに記述したりして筋道を立てて伝え合うことができるようにする。 II 学習活動 1 前時の復習、本時のねらいと学習内容を確認する。 2 ロールプレイ学習を行う。 3 「性との上手な向き合い方」について全体でまとめる。 4 授業を通しての自分の考えをロイロノートに記入する。 主たる学習内容（知識） ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となること。 5 本時のまとめとまとめ		②		ロイロノート 動画 観察
---	--	--	---	--	--------------------

8 本時の学習と指導（3／3）

（1）ねらい

- ・性意識の変化について、課題を発見し、解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったりロイロノートに記述したりして筋道を立てて伝え合うことができるようにする。

<思考力、判断力、表現力等>

（2）資料及び準備するもの

大型テレビ、ホワイトボード、iPad、教科書

（3）展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意事項○、評価規準◆ 教諭 T1、養護教諭 T2
導入（5分）	1 前時の復習、本時のねらいと学習内容を確認する。	T1 ○前時に学習した性意識と性情報への対処について復習する。 ○復習の際、生徒タブレットに資料を提示する。 ○本時の課題を黒板及び生徒タブレットにて提示する。 T2 ○生徒の家庭環境や実情をあらかじめ把握し、個別に相談できるようにするなど配慮する。 【学習課題】異性を尊重する態度を身に付け、よりよい人間関係について考えよう。

	主たる学習内容（知識） ・身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となること。	T2○単元を通して気付いたことをロイロノートで提出させる。 ○提出された気付いたことの中で、中学生生活における性との向き合い方の視点のある意見を発表させる。 ◆性意識の変化について、課題を発見し、解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったりロイロノートに記述したりして筋道を立てて伝え合っている。 （ロイロノート、動画、観察）【思考・判断・表現】 △「努力を要する」状況（C）と判断される生徒への指導の手立て ・より良い人間関係のポイントを確認させる。 ・ロールプレイで気付いたことを確認させる。 ◎「十分満足できる」状況（A）と判断される生徒の具体的な姿 ・授業を通して学んだことを、今後の生活にどう生かしていくか具体的な考えをロイロノートに記入することができる。
まとめ (7分)	5 単元のふりかえりとまとめをする。（※2下記参照）	T2○提出された個人の考え・意見から、性との上手な向き合い方について自分のこととしてとらえ記入できているものを紹介する。 ○本単元の内容を受けて、自分を大切にし、相手も尊重しながら生活していけるよう伝える。 ○学んだことを家庭で保護者の人と話し、保護者に感想を提出してもらう。

※1 カップルのやり取りの内容

2人でデートをしていたが、時間が遅くなったのでBさんは「もう帰ろう」と切り出した。すると、Aさんは「一緒に居たくないのか」「一緒に居たくないならもう別れよう」と怒鳴った。Bさんは別れるという言葉に困ってしまい、その後「帰ろう」と再度切り出すこともできず遅くまで一緒に遊んだ。

※ 2 養護教諭のメッセージセリフ

いま皆さんは思春期という時期にいます。この3時間を通して、思春期というキーワードは何度も出てきました。私を見てください(片足で案山子のように立って見せる)。どうなっていますか？
みんなの心と体のバランスは、こんな風に1人では安定して立ってられない時期で、不安定な時期でもあるのが思春期といわれています。イライラしたり、感情的になってしまったり、不安をいつも以上に感じてしまったりする時期です。ものすごく様々なことに悩んだり、考えるすぎるくらい考えてしまう時期でもあります。ここまでの3時間の授業の中で、自分の気持ちを考えたり、知ってみたり、相手の気持ちを想像してみたりしてきました、非常に難しかったと思います。難しいなりに、今の自分自身を見つめ、よく考えることができたと思います。このような不安定な時期を生きている皆さんですが、このように、誰かの支えがあれば、この不安定な思春期もなんとか倒れず立っていられます。(もう一度、かかしのように片足立ちをして、T1の先生に支えてもらい、しっかり立てるところを見せながら)

これから、皆さんはもっともっと体も大きく成長して、伴って心も成長していきます。中2・中3と進み、悩みの中身も変化するでしょう。初めての進路選択、受験も経験しますね。でも、今見せたように、誰かの支えがあれば、自分の足で、しっかりと立っていられます。自分で進んでいきます。みんなの周りには沢山の大人、ご家族、先生がいますね。ぜひ、大人を頼ってください。特に、ご家族は毎日皆さんと共に生活もしていますから、皆さんのことを一番よくわかっていると思います。そして心配もしていると思います。困ったときはぜひ、頼って、力を借りてください。

今日、タブレットを持ち帰り、ここまでの授業の資料をご家族に見せて、一緒に話しあってみてください。話題にして、ぜひ性について、今を生きることについて、一緒に考えてみてください。

最後に。

保健室を利用したことがない人が、このクラスには沢山いると思います。けがしたことがないし、行く用事がないという理由から、保健室を利用したことがないかもしれません。でも、保健室は心のことや自分のことについて話しをしたり、相談をしても良い場所です。保健室は、けがや病気でしか行っていないといけないという場所ではありません。身体や心、成長の悩みはもちろん、身体や心のこと、考えていることについて、ちょっと話したいなという時でも気軽に保健室を利用してください。いつでも聞きます。自分1人で悩みを抱えることなく、保健室もうまく活用しながら、この先の様々なことを乗り越えて頑張っていってほしいと思います。

めあて **異性を尊重する態度を身に付け、よりよい人間関係について考えよう。**

性との向き合い方で大切なこと

- ・相手を尊重する。
- ・個人差を理解する。
- ・自分を大切にする。
- ・お互いの気持ちを伝える。

よりよい関わり方

- ・いやだと感じたことは、いやだと言う
→自分の気持ちを伝えるべき時は、はっきりと言う
- ・相手の気持ちを受け入れる
→「そうだよね」「同じ気持ちだよ」
- ・いやなときは、相手と距離をおく

役A セリフカード

気持ちを強要するセリフ

「私（ぼく）のこと好きじゃないの？」 「私（ぼく）は一緒に居たいのに」
「わがまま言うなよ」 「君のことが大好きだから一緒に居たいのに」
「好きならもっと一緒に居ようよ」 「なんで気持ちをわかってくれないの？」
「一緒に居たくないなら別れよう」 「別の子と遊ぶからもういいよ」

※相手の気持ちや考えに納得したら、気持ちを受け入れてあげよう。

役B セリフカード

相手に共感するセリフ

「そうだよね」 「気持ちわかるよ」 「○○だよね」

自分の気持ちを伝えるセリフ

「だけど、○○（理由や気持ち）だからさ」
「私（ぼく）は、○○（理由や気持ち）なんだ」